



平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月7日

上場会社名 三光合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 7888 URL <http://www.sankogosei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 黒田 健宗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員

(氏名) 芹川 明

TEL 0763-52-7105

四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日

配当支払開始予定日

平成28年2月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第2四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	29,421	19.9	1,395	32.5	784	△22.0	532	△28.6
27年5月期第2四半期	24,544	17.5	1,053	15.9	1,006	44.9	745	39.5

(注) 包括利益 28年5月期第2四半期 45百万円 (△97.0%) 27年5月期第2四半期 1,525百万円 (220.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年5月期第2四半期	22.20	—
27年5月期第2四半期	35.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年5月期第2四半期	43,975	14,996	32.3	557.81
27年5月期	45,407	13,049	26.6	576.79

(参考) 自己資本 28年5月期第2四半期 14,216百万円 27年5月期 12,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年5月期	—	4.00	—	5.00	9.00
28年5月期	—	5.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	60,000	19.6	2,500	6.9	2,100	11.9	1,500	10.3	60.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社(社名)「SANKO SEKISUI JRG TOOLING INDIA PRIVATE LTD.」
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年5月期2Q	25,688,569 株	27年5月期	21,121,569 株
② 期末自己株式数	28年5月期2Q	202,874 株	27年5月期	202,146 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年5月期2Q	23,964,839 株	27年5月期2Q	20,922,274 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の収益や雇用情勢の改善により個人消費も緩やかに回復してまいりました。しかし、中国経済の減速、米国利上げ時期の問題等により先行きの不透明感は拭えません。

一方、海外におきましては、米国経済は好調に推移しておりますが、アセアンをはじめとする新興国の景気は足踏み状態が続いております。

この様な経済環境の中、当社グループでは前連結会計年度に引き続き、生産効率の向上を図り労務費や経費の圧縮に努め、原価低減活動を積極的に進めてまいりました。国内におきましては、子会社化した株式会社積水工機製作所と連携し金型受注の強化を進めております。

海外につきましては、米国子会社「SANKO GOSEI TECHNOLOGIES USA, INC.」の連結子会社化により、当社グループが改めて米国での事業展開をする上で大きな役割を果たしていくこととなります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は29,421百万円（前年同期比19.9%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は1,395百万円（前年同期比32.5%増）、経常利益は為替差損の計上もあり784百万円（前年同期比22.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は532百万円（前年同期比28.6%減）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

① 日本

成形品部門においては、情報・通信機器部品の受注増加に支えられ増収となりました。また、金型部門では株式会社積水工機製作所の連結子会社化により増収となりました。この結果、売上高は12,052百万円（前年同期比22.0%増）となり、セグメント利益は915百万円（前年同期比0.0%減）となりました。

② 欧州

車両用内外装部品の売上が大幅に増加し、売上高は4,151百万円（前年同期比42.0%増）となり、セグメント利益は399百万円（前年同期比64.9%増）となりました。

③ アジア

タイ及びインドネシアにおいて、通貨安による国内消費の停滞や中国経済の減速等の影響を受けて、車両用内外装部品の受注減もあり、売上高は10,326百万円（前年同期比7.8%減）となり、セグメント損失は16百万円（前年同期はセグメント利益219百万円）となりました。

④ 北米

メキシコでの車両用内外装部品の受注増加と、「SANKO GOSEI TECHNOLOGIES USA, INC.」の連結子会社化もあり、売上高は2,890百万円（前年同期比426.2%増）となり、セグメント利益は362百万円（前年同期はセグメント損失24百万円）となりました。

なお、部門別の売上の状況は、次のとおりであります。

部門別		当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)	
		売上高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
成形品	情報・通信機器	3,948	16.6
	車両	17,643	1.1
	家電その他	974	6.0
成形品計		22,566	3.8
金型		6,855	145.3
合計		29,421	19.9

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、43,975百万円（前連結会計年度末比1,432百万円減）となりました。流動資産は22,913百万円と前連結会計年度末比742百万円減少しておりますが、主にたな卸資産の減少998百万円並びに現金及び預金の増加381百万円によるものであります。固定資産は21,061百万円と前連結会計年度末比690百万円減少しておりますが、これは、有形固定資産の減価償却等による減少743百万円が主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、28,978百万円（前連結会計年度末比3,379百万円減）となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の減少1,112百万円、短期借入金の減少3,464百万円及び長期借入金の増加2,131百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、14,996百万円（前連結会計年度末比1,946百万円増）となりました。これは、主に増資等による資本金及び資本剰余金の増加2,001百万円、利益剰余金の増加427百万円及び為替換算調整勘定の減少306百万円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は5,897百万円となり、前連結会計年度末より381百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,813百万円（前年同期は274百万円の使用）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益645百万円、減価償却費1,333百万円及びたな卸資産の減少947百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は703百万円（前年同期比26.8%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出689百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は553百万円（前年同期は229百万円の獲得）となりました。これは主に長期借入金の借入による収入2,800百万円、株式の発行による収入1,989百万円、長期借入金の返済による支出859百万円及び短期借入金の減少3,381百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月期通期の業績予想につきましては、平成27年7月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結の範囲の重要な変更）

「SANKO SEKISUI JRG TOOLING INDIA PRIVATE LTD.」は、株式の追加取得により当第2四半期連結会計期間末より、持分法の適用範囲から除外し、連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計的
用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、
「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）
及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計
基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分
変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上す
る方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な
会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表
に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持
分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会
計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組換えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業
分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将
来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は11,168千円減少しております。また、当第
2四半期連結会計期間末の資本剰余金が11,168千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,515,246	5,897,140
受取手形及び売掛金	12,138,861	12,103,904
商品及び製品	1,729,390	727,495
仕掛品	1,562,364	1,615,686
原材料及び貯蔵品	766,805	716,723
その他	1,953,406	1,862,899
貸倒引当金	△10,521	△10,511
流動資産合計	23,655,554	22,913,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,584,002	6,453,757
機械装置及び運搬具(純額)	6,970,479	6,973,491
工具、器具及び備品(純額)	1,881,252	1,416,569
土地	4,272,321	4,188,384
建設仮勘定	259,867	191,965
有形固定資産合計	19,967,923	19,224,169
無形固定資産		
のれん	335,345	405,393
その他	478,483	512,162
無形固定資産合計	813,828	917,556
投資その他の資産		
投資有価証券	670,876	614,790
その他	329,031	334,886
貸倒引当金	△29,580	△29,580
投資その他の資産合計	970,328	920,097
固定資産合計	21,752,080	21,061,823
資産合計	45,407,634	43,975,161

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,675,650	9,563,363
短期借入金	5,919,299	2,454,521
1年内返済予定の長期借入金	1,778,956	2,402,797
1年内償還予定の社債	520,000	470,000
未払法人税等	425,599	317,674
賞与引当金	97,500	98,500
役員賞与引当金	31,845	—
工事損失引当金	16,656	16,543
その他	3,754,697	3,544,566
流動負債合計	23,220,203	18,867,967
固定負債		
社債	820,000	610,000
長期借入金	5,095,830	6,603,058
役員退職慰労引当金	23,400	23,200
退職給付に係る負債	549,023	500,712
その他	2,649,835	2,373,894
固定負債合計	9,138,089	10,110,866
負債合計	32,358,293	28,978,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,890,800	2,885,734
資本剰余金	1,742,393	2,748,496
利益剰余金	8,436,202	8,863,619
自己株式	△42,541	△42,836
株主資本合計	12,026,854	14,455,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,380	△343
繰延ヘッジ損益	19	26
為替換算調整勘定	161,993	△144,342
退職給付に係る調整累計額	△123,976	△94,170
その他の包括利益累計額合計	39,417	△238,829
非支配株主持分	983,069	780,142
純資産合計	13,049,341	14,996,328
負債純資産合計	45,407,634	43,975,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
売上高	24,544,298	29,421,695
売上原価	20,803,223	24,784,279
売上総利益	3,741,074	4,637,416
販売費及び一般管理費	2,687,893	3,241,471
営業利益	1,053,181	1,395,945
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,115	4,752
持分法による投資利益	19,103	—
為替差益	102,663	—
スクラップ収入	26,197	13,795
受取補償金	—	30,681
その他	74,694	18,756
営業外収益合計	227,775	67,986
営業外費用		
支払利息	229,044	211,498
持分法による投資損失	—	8,899
為替差損	—	406,217
その他	45,234	52,490
営業外費用合計	274,278	679,105
経常利益	1,006,678	784,825
特別利益		
固定資産売却益	1,033	2,294
段階取得に係る差益	—	72,483
その他	—	8,724
特別利益合計	1,033	83,502
特別損失		
固定資産除却損	9,135	12,266
固定資産売却損	50	3,858
スワップ差損	7,768	41,201
特別退職金	—	97,603
災害損失	—	63,941
その他	12,000	4,000
特別損失合計	28,953	222,872
税金等調整前四半期純利益	978,758	645,456
法人税等	218,216	269,724
四半期純利益	760,542	375,731
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	15,051	△156,282
親会社株主に帰属する四半期純利益	745,490	532,014

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
四半期純利益	760,542	375,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△898	△1,724
繰延ヘッジ損益	△2	7
為替換算調整勘定	731,175	△339,164
退職給付に係る調整額	28,101	29,806
持分法適用会社に対する持分相当額	6,903	△18,842
その他の包括利益合計	765,278	△329,917
四半期包括利益	1,525,820	45,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,401,378	253,766
非支配株主に係る四半期包括利益	124,442	△207,952

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	978,758	645,456
減価償却費	1,151,281	1,333,592
のれん償却額	—	16,801
持分法による投資損益(△は益)	△19,103	8,899
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27,367	△9
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△22,816	△37,477
受取利息及び受取配当金	△5,115	△4,752
支払利息	229,044	211,498
有形固定資産売却損益(△は益)	△983	1,564
投資有価証券評価損	12,000	4,000
有形固定資産除却損	9,135	12,266
為替差損益(△は益)	△102,663	406,217
スワップ差損益(△は益)	7,768	41,201
売上債権の増減額(△は増加)	△2,225,246	△242,260
たな卸資産の増減額(△は増加)	75,463	947,682
その他資産の増減額(△は増加)	△566,252	353,376
仕入債務の増減額(△は減少)	822,708	△737,706
その他負債の増減額(△は減少)	△202,926	△174,166
割引手形の増減額(△は減少)	49,995	—
その他	81,587	△336,180
小計	245,265	2,450,002
利息及び配当金の受取額	5,115	4,752
利息の支払額	△213,821	△207,596
法人税等の支払額	△311,481	△433,559
営業活動によるキャッシュ・フロー	△274,920	1,813,598
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△352	△359
有形固定資産の取得による支出	△513,747	△689,362
有形固定資産の売却による収入	1,080	9,535
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	41,626
その他	△41,486	△64,455
投資活動によるキャッシュ・フロー	△554,506	△703,015

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	699,900	△3,381,385
長期借入金の借入れによる収入	1,258,438	2,800,000
長期借入金の返済による支出	△1,142,030	△859,690
株式の発行による収入	—	1,989,869
社債の償還による支出	△260,000	△260,000
セール・アンド・リースバックによる収入	359,885	—
リース債務の返済による支出	△549,146	△563,919
配当金の支払額	△83,691	△104,597
非支配株主への配当金の支払額	△53,312	—
自己株式の取得による支出	△520	△294
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△173,936
財務活動によるキャッシュ・フロー	229,522	△553,954
現金及び現金同等物に係る換算差額	358,339	△174,734
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△241,565	381,893
現金及び現金同等物の期首残高	3,649,699	5,515,246
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,408,134	5,897,140

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年7月29日を払込期日とする公募による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ735,707千円増加しております。また、平成27年7月29日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ155,020千円増加しております。さらに、平成27年8月26日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ104,207千円増加しております。

これらの結果、当第2四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ994,934千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が2,885,734千円、資本準備金が2,737,328千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,875,758	2,924,003	11,195,171	549,364	24,544,298	—	24,544,298
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,589,814	5,114	727,524	153	2,322,606	△2,322,606	—
計	11,465,572	2,929,117	11,922,696	549,517	26,866,904	△2,322,606	24,544,298
セグメント利益又は損失(△)	916,154	242,254	219,409	△24,560	1,353,257	△300,075	1,053,181

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△15,043千円及び各報告セグメントに配分していない
 全社費用△285,032千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,052,810	4,151,424	10,326,780	2,890,680	29,421,695	—	29,421,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,080,506	5,176	432,774	109,145	1,627,601	△1,627,601	—
計	13,133,316	4,156,600	10,759,555	2,999,825	31,049,297	△1,627,601	29,421,695
セグメント利益又は損失(△)	915,635	399,502	△16,846	362,055	1,660,347	△264,402	1,395,945

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去82,803千円及び各報告セグメントに配分していない
 全社費用△347,205千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。